

功績をたたえて～幕別町功労賞～

町では、自治・経済・社会・文化等の発展に顕著な功績のあった方や他の模範となる善行をされている方を表彰しています。

平成30年度は幕別町功労者として4人の方を表彰します。表彰式は開町記念日の10月1日、町民会館で行います。



産業功労
多田 智さん
(忠類新生・71歳)

平成12年5月に忠類農業協同組合理事、平成18年5月からは代表理事組合長に就任され、平成30年4月までの永きにわたり指導的立場から地域農業の発展に寄与されました。特に、酪農業の分野において生乳増産のため、設備の近代化や経営規模の拡大に尽力されるとともに、担い手の育成にも努められる等、農業経営者の生活安定のために尽力されました。



産業功労
馬淵 輝昭さん
(札内青葉町・75歳)

昭和55年5月に幕別町商工会理事に就任され、平成30年5月までの38年の永きにわたり商工会活動の推進に尽力し、小規模事業者の発展及び本町経済の活性化に寄与されました。また、平成8年4月から平成12年3月までの間、幕別町観光協会会長として、町の各種イベントの開催に力を注がれるなど、本町の観光振興に貢献されました。



産業功労
西田 正康さん
(宝町・68歳)

平成6年5月に幕別町商工会理事に就任され、平成30年5月までの24年の永きにわたり商工会活動の推進に尽力し、小規模事業者の発展及び本町経済の活性化に寄与されました。その間、特に経営発達支援や金融・税務・経理に関する支援など、経営改善普及事業の推進に努められました。



スポーツ功労
岩井 浩さん
(緑町・76歳)

昭和60年4月から13年間幕別町体育連盟事務局長として、また昭和61年5月から平成30年4月までの32年の永きにわたり幕別町スポーツ推進委員として町民の健康増進とスポーツの振興に尽力されました。また、現在においてもパークゴルフの公認指導員として、競技の指導及び普及活動に尽力されています。

岡田和夫さん（前幕別町長）が 幕別町名誉町民に

町では、幕別町名誉町民条例に基づき、町の発展に大きな業績を挙げられた方の功績と栄誉をたたえ、幕別町名誉町民の称号をお贈りしています。
このたび、前幕別町長の岡田和夫さんが、8月31日に行われた町議会において、幕別町名誉町民に決定されました。



○主な功績

岡田さんは、平成11年4月、幕別町長に初当選され、以来、4期16年間の永きにわたり本町の行政推進のリーダーとして、その手腕を存分に発揮され、その間、地域の交通手段確保のためのコミュニティバスの運行など生活環境の整備、小学生以下の医療費を実質無料化する「子ども医療費助成制度」の創設、図書館における先進的な蔵書管理システムの導入、担い手の確保対策のための農業担い手支援センターの設立や道の駅忠類の移転新築による観光拠点の整備、そして何よりも最大の行政改革と言われる町村合併を成功に導かれるなど、多大な功績を残されました。

○略歴

昭和20年生まれ。昭和39年に幕別町役場に奉職され、総務部総務課長、総務部長などを歴任。平成9年10月から平成11年2月までは幕別町教育委員会教育長、平成11年5月から平成27年4月まで幕別町長を務められました。

